

安全データシート

ページ: 1/14

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 25. 04. 2022

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 5.0

(30542940/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

1. 化学品及び会社情報

Motive EC モーティブ乳剤

用途: 農薬製品, 除草剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

誤えん有害性: 区分 1
急性毒性: 区分 4 (経口)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
皮膚感作性: 区分 1B
水生環境有害性 短期(急性): 区分 1
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
危険

危険有害性情報:

| | |
|------|--------------------------|
| H315 | 皮膚刺激。 |
| H302 | 飲み込むと有害。 |
| H317 | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 |
| H304 | 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 |
| H400 | 水生生物に非常に強い毒性。 |
| H410 | 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 |

注意書き:

| | |
|------|----------------------------------|
| P101 | 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。 |
| P102 | 子供の手の届かないところに置くこと。 |
| P103 | 使用前にラベルをよく読むこと。 |

注意書き（安全対策）:

| | |
|------|----------------------------|
| P261 | 蒸気の吸入を避けること。 |
| P264 | 取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。 |
| P270 | この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 |
| P272 | 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 |
| P280 | 保護手袋を着用すること。 |

注意書き（応急措置）:

| | |
|-------------|---------------------------------|
| P301 + P310 | 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 |
| P302 + P352 | 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 |
| P330 | 口をすすぐこと。 |
| P331 | 無理に吐かせないこと。 |
| P333 + P313 | 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 |
| P361 | 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。 |
| P391 | 漏出物を回収すること。 |

注意書き（保管）:

| | |
|------|-------------|
| P405 | 施錠して保管すること。 |
|------|-------------|

注意書き（廃棄）:

| | |
|------|---|
| P501 | 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。 |
|------|---|

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 25. 04. 2022

製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 5.0

(30542940/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤, 乳剤

GHS分類に寄与する成分

ペンディメタリン

含有量 (W/W): 23.11 %

CAS番号: 40487-42-1

急性毒性: 区分 5 (経口)

皮膚感作性: 区分 1B

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 100

M-ファクター慢性: 10

ジメテナミド-P

含有量 (W/W): 19.66 %

CAS番号: 163515-14-8

急性毒性: 区分 4 (経口)

皮膚感作性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 10

M-ファクター慢性: 10

ソルベントナフサ

含有量 (W/W): < 50 %

CAS番号: 64742-94-5

化審法: (3)-7

労働安全衛生法: (3)-7

誤えん有害性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

| Poly(oxy-1,2-ethanediyl), .alpha.-[tris(1-phenylethyl)phenyl]-.omega.-hydroxy-

含有量 (W/W): < 10 %

CAS番号: 99734-09-5

化審法: (7)-170

労働安全衛生法: (7)-170

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

急性毒性: 区分 5 (経口)

4-sec-アルキル (C10~13) ベンゼンスルホン酸カルシウム塩

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 25. 04. 2022
製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 5.0

(30542940/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

含有量 (W/W): < 5 %
CAS番号: 84989-14-0
化審法: (3)-1949
労働安全衛生法: (3)-1949

急性毒性: 区分 5 (経口)
急性毒性: 区分 5 (経皮)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1
水生環境有害性 短期(急性): 区分 2
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

2-エチルヘキサン-1-オール

含有量 (W/W): < 5 %
CAS番号: 104-76-7
化審法: (2)-217
労働安全衛生法: (2)-217

引火性液体: 区分 4
急性毒性: 区分 5 (経口)
急性毒性: 区分 4 (吸入-ミスト)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き (回復体位) で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水と石鹼で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。誤嚥(飲食物や唾液が誤って気管に入って しまうこと)のおそれがあるため、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 塩化水素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, ハロゲン化合物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 24 月

次の温度以下にならないように保護すること: -5°C
長期にわたり安定貯蔵温度以下で保管すると、変質することがある。
次の温度以上にならないように保護すること: 40°C
もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ビフェニル, 92-52-4;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.2 ppm (ACGIHTLV)

2-エチルヘキサン-1-オール, 104-76-7;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5.3 mg/m³; 1 ppm (日本産業衛生学会 職業ばく露限度(JP))

ソルベントナフサ, 64742-94-5;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 mg/m³ (ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

無視できるエアロゾル暴露条件に限定された用途。

経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

皮膚吸収の危険性

経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

皮膚吸収の危険性

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 mg/m³ (ACGIHTLV), エアロゾルでない。

として測定された: 総炭化水素蒸気

無視できるエアロゾル暴露条件に限定された用途。

1-メチルナフタレン, 90-12-0;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 ppm (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV)

皮膚吸収の危険性

(日本産業衛生学会 職業ばく露限度(JP))

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

2-メチルナフタレン, 91-57-6;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 ppm (ACGIHTLV)
経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV)
本物質は皮膚を通して吸収される。
(日本産業衛生学会 職業ばく露限度(JP))
本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。
経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV)
皮膚吸収の危険性

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルターEN 14387タイプABEK-P3

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等(飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。作業服は、他の物と分けて保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 液体
色: 赤褐色
臭い: 芳香臭
臭いのしきい値: 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。

pH: 約 6 - 8
(1 % (m), 20 ° C)

凝固点: < 0 ° C
沸点範囲: 244 - 292 ° C
情報は溶媒に適用される

引火点: 113 ° C (EU指令 92/69/EEC, A. 9)

| | |
|--|---|
| 蒸発率: | 適用せず |
| 可燃性 (固体/ガス): 爆発下限界: | 適用せず この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。 |
| 爆発上限界: | この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。 |
| 自然発火温度: | 365 ° C (EU指令 92/69/EEC, A. 15) |
| 熱分解: | 通常取り扱い条件下で危険分解物なし。 |
| 爆発危険有害事項: 火災を引き起こす性質: | 爆発性なし。 火災伝播性はない。 |
| 蒸気圧: | < 0.1 kPa (25 ° C) 情報は溶媒に適用される |
| 密度: | 約 1.08 g/cm ³ (20 ° C) |
| 相対ガス密度 (空気): | 適用せず |
| 水に対する溶解性: n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): | エマルジョンを形成 本記述は、各成分の特性に基づくものである。 |
| 記載物質に関する情報: n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): | ジメテナミド-P 1.89 |
| ----- | |
| 粘度: | 約 28 mPa. s (20 ° C, 100 1/s) |
| 動粘性率: | 約 12 mm ² /s (40 ° C) |

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:

単回摂取後、中程度の毒性を示す。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 500 - < 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.4 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 5,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

死亡なし

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚接触により刺激を生じる。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚接触により感作の可能性はある。

実験または計算によるデータ:

改定Buehler試験 モルモット: (OECDテストガイドライン406)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

発がん性の評価:

ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

単回暴露評価:

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ペンディメタリン

反復投与毒性の評価:

動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報 : ジメテナミド-P
反復投与毒性の評価:
動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報 : 4-sec-アルキル (C10~13) ベンゼンスルホン酸カルシウム塩
反復投与毒性の評価:
反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

飲込むこと（嚥下危険）により、肺にも障害を与える可能性がある。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度）(96 h) 1.06 mg/l, ニジマス（学名 : *Oncorhynchus mykiss*）(OECDテストガイドライン 203, 止水式)

水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 1.77 mg/l, オオミジンコ（学名 : *Daphnia magna*）(OECDテストガイドライン 202-1)

水生植物:
EC50 (72 h) 0.46 mg/l (成長率), 緑藻（学名 : *Pseudokirchneriella subcapit* (OECDテストガイドライン 201)

EC10（10%影響濃度）(72 h) 0.03 mg/l (成長率), 緑藻（学名 : *Pseudokirchneriella subcapit* (OECDテストガイドライン 201)

EC50 (7 日) 0.045 mg/l (成長率), *Lemna gibba*

EC10（10%影響濃度）(7 日) 0.0008 mg/l (成長率), *Lemna gibba*

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中へ徐々に揮発する。

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報： ジメテナミド-P

環境区分間の輸送評価:

土壌への曝露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壌深部へと移行し得る。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

容易に生分解性されない（OECD基準による）

記載物質に関する情報： ジメテナミド-P

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

容易に生分解性されない（OECD基準による）

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 3,300

証拠の重要性に基づき、この組成は、生態蓄積性ではない。

記載物質に関する情報： ジメテナミド-P

生体蓄積性:

n-オクタノール／水の分配係数（log Pow）より、生体への著しい蓄積はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

容器等級: III
 国連番号: UN 3082
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (内容物 ペンディメタリン, ジメテナミド-P)

海上輸送

IMDG
 容器等級: III
 国連番号: UN 3082
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 海洋汚染物質: 該当
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (内容物 ペンディメタリン, ジメテナミド-P)

Sea transport

IMDG
 Packing group: III
 ID number: UN 3082
 Transport hazard class(es): 9, EHSM
 Marine pollutant: YES
 Proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains PENDIMETHALIN, DIMETHENAMID-P)

航空輸送

IATA/ICAO
 容器等級: III
 国連番号: UN 3082
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (内容物 ペンディメタリン, ジメテナミド-P)

Air transport

IATA/ICAO
 Packing group: III
 ID number: UN 3082
 Transport hazard class(es): 9, EHSM
 Proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains PENDIMETHALIN, DIMETHENAMID-P)

[追加情報]

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。

ADR、RID、ADN：特別規定375;

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 25. 04. 2022
製品: Motive EC / モーティブ乳剤

バージョン: 5.0

(30542940/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

JT/T617. 3;
IMDG : 2. 10. 2. 7;
IATA : A197;
TDG : 特別規定99 (2) ;
49CFR: セクション171.4 (c) (2)

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 水溶性

ペンディメタリン
化学物質排出把握管理促進法
第1種指定化学物質
23.1 %
政令番号 : 49

ナフタレン
ソルベントナフサ
労働安全衛生法
通知対象物

ソルベントナフサ
労働安全衛生法
第3種有機溶剤

表示すべき危険有害性決定要素: ペンディメタリン, ジメテナミド-P, ソルベントナフサ

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。